白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

酪農だより

Vol. 715
令和３年８月号

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」ー酪農家の心を食卓へー

今月の特集
大山乳業農協のあゆみ　鳥取県の酪農編
中国地区良質生乳出荷者表彰伝達式開催

現場潜入
創立７５周年の取り組み紹介

各種活動レポート

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ

congratulation
皆さん受賞おめでとうございます！

おかげさまで
75th Anniversary
since1946

乳価値上げ要求運動（昭和５２年）

創立75周年記念特集

大山乳業農協のあゆみ
鳥取県の酪農編

昭和４１年、合併により組合員は増えたものの、大山乳業農協を取り巻く環境は徐々に変化し、鳥取県の酪農は新たな時代へ進んでいきます。

時は高度経済成長期。大きな時代の変化の中熱意を持って様々な挑戦を続けた酪農家の１０余年を振り返ります。

社会情勢の変化と酪農危機に立ち向かう鳥取県の酪農

合併当時、当時の1戸当たりの平均飼養頭数は2頭余りと少なく、当時は「副業」として酪農を行っていた場合が多く、他産業や他作物に転換する農家が増えたことにより大山乳業農協では戸数、頭数、乳量共に減少傾向になりました。

「このままでは酪農が消滅してしまうのでは」と心配される一方、酪農を経営の柱にしたいという熱意を持った酪農家は規模拡大に向けた取り組みを始めました。農業を取り巻く社会情勢が足早に移り変わる中、鳥取県内各地区に多頭化研究会が産声を上げ、飼養管理技術や経営管理についての研修会が行われました。

搾れば売れる時代から「消費なくして酪農なし」の時代へ

大山乳業農協として新たなスタートを切った昭和41年は「乳が足りず、いくら搾っても売れる」時代でした。

不足払法※が制定され、酪農が法律によって支えられる体制が整い、特に昭和40年代後半から50年代前半にかけては資金の投入により急激な規模拡大が進みました。

その後、昭和54年頃からは徐々にその様相に変化が見られるようにな

り、生産が消費を上回り始めると「消費なくして酪農なし」という言葉が幅を利かせる時代が訪れます。生乳は売れ残り、売れ残った生乳は安く買い叩かれ乳価が低迷すると酪農家は「生産調整」を余儀なくされ、大山乳業農協の生乳生産にも影を落としました。時代は量的拡大から質的拡大へ動き始めていました。

※不足払法…生産者保護の為に政府が基準価格を決め、市場価格が基準を下回った場合に、その不足分だけを生産者に支払う価格補償方式

生産は減らしても所得は増やしたい

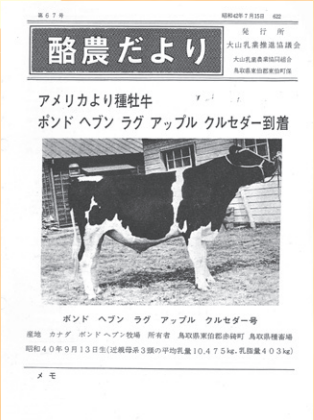
生産調整を余儀なくされた酪農家ですが「生産は減らしても所得は増やしたい」と、この酪農状況を解決する為に最小頭数で最大利益を得るため「8000kg戦略」が打ち出され、1頭当たりの能力向上、乳質向上に取り組み努力しました。あわせて生産性向上のためにアメリカの技術を紹介するなど様々な技術革新が行われ、特に栄養管理技術が目覚ましく発展しました。また、「牛群検定」と「後代検定」を乳牛の能力を引き出す原動力にし、1頭当たりの乳量を増やすことに活用していきました。

鳥取県の乳牛改良と鳥取県ホルスタイン改良同志会

鳥取県の乳牛改良は戦後から始まり、昭和30年代までは国有貸付種雄牛などを中心にした改良。その後昭和40年代から50年代前半にかけては、県がアメリカ・カナダから導入した8頭の種雄牛を利用しました。さらに昭和50年代後半は県種雄牛に加え国内外の優良精液を利用した改良に移行していきます。特に昭和41年以降の能力の向上はめざましく飛躍しました。

鳥取県の乳牛改良体制が整備されるに伴いその成果は着実に表れ始め、昭和50年に開催された第7回鳥取県ホルスタイン共進会の頃から県種雄牛の娘牛が多く出品され、各部門でトップを占めるようになります。

しかし、一方で北海道の乳牛と比べ「鳥取県の現状は10年遅れている」と実感し、当時は少数派だった改良熱心な若手酪農家を中心に乳牛改良同志会が設立され、県の枠を超えた人と乳牛と改良情報の交流が始まりました。その後、鳥取県内の各地区に乳牛改良同志会が発足され、やがて県一本の組織化を図る気運が高まり「鳥取県ホルスタイン改良同志会」が発足。全国ホルスタイン改良協議会に加入し中国地区BWショウにも出品をはじめると、年を重ねるごとに乳牛改良の成果が表れ、中国地区BWショウではトップをとるなど常に上位入賞を果たすなど、鳥取県の乳牛改良をリードする改良同志会として力強い存在となっていきました。


酪農だより

アメリカより種牡牛
ボンド ヘブン ラグ アップル クルセダー到着

ボンド ヘブン ラグ アップル クルセダー号
産地 カナダ ボンドヘブン牧場 所有者 鳥取県東伯郡赤碕町 鳥取県種畜場
昭和40年9月13日生(近親母系3頭の平均乳量10,475kg、乳脂量403kg)

メモ

当時の酪農だより

これからも鳥取県の酪農を守る

現在の鳥取県の酪農の礎とも言える時代から数十年。鳥取県の生乳は全国に誇る乳質を手に入れました。しかし、その乳質を維持すること、そして担い手の育成や環境の影響など酪農を取り巻く課題に終わりはありません。

日々、牛や自然と向き合う酪農家と鳥取県の酪農を守り伝えていくために、私たちはこの節目に改めて歴史を知り学ぶことで、良質な生乳の美味しさと鳥取県の酪農の魅力を伝えていかなければならないと感じました。

中国地区良質生乳出荷者表彰伝達式開催

鳥取県がホルスタイン部門最優秀賞受賞！

中国地区で良質乳出荷者は誰だ?!

令和2年度より、中国地区（鳥取、島根、岡山、広島、山口）で年間を通じて良質な生乳を出荷していただいた生産者を表彰する制度が中国生乳販連主催で開始され、7月19日に受賞者へ表彰伝達式が行われましたので、ご紹介します。

本制度は、良質な生乳を安定的に乳業者に供給することで有利販売に繋げ酪農経営の安定を図りながら乳質の向上と生産意欲の高揚を図ることを目的として乳価統一テーブルと併せて開始されました。今までも各県ではそれぞれ独自の基準を設け表彰制度が実施されていましたが、統一した基準で年間出荷乳量や品種、学校などの6部門に分けて表彰する制度です。

ホルスタイン部門を独占

中国地区の令和2年度の出荷者は528名でしたが、6部門の表彰者は全員で26名となりました。その中でもジャージー部門（2名）を除くホルスタイン部門（24名）で当組合生産者16名が受賞となり、なかでも最優秀賞は学校部門を含めホルスタイン5部門を全て独占する結果となり、3部（年間出荷500t～1000t）では受賞者5名は全て当組合の組合員となりました。受賞者は一覧表にて表示しておりますのでご覧ください。

表彰式のようす

最優秀受賞者の喜びの一言を頂きました

川本潤一郎さん

日頃から指導課職員やヘルパー職員さんにお世話になり感謝をしております。リバーズファームは毎日「牛ファースト」で仕事をしていますので、その成果が受賞に結び付いたと思います。スタッフ一同で受賞の喜びを分かち合いたいと思います。

近藤大介さん

このような伝達式を行っていただきありがとございます。今回、受賞出来たことを嬉しく思います。これを励みにこれからも頑張ります。

手嶋和博さん

地域の皆さんの深いご理解と多くの皆さんに支えられて頂けた賞だと思います。
今後も消費者の皆さんに「美味しい」と言っていただけるような生乳を出荷していきたいと思います。

川本和昭さん

日頃の牧場作業を父やスタッフが丁寧に実施した結果がこの受賞に結び付いたと思います。来年も受賞できるよう頑張ります。

倉吉農業高等学校さん

普段から丁寧な搾乳作業と牛舎管理を心がけています。当たり前の作業を生徒みんなで丁寧に実施することを心掛けてこれからも頑張ります！

中国地区良質生乳表彰一覧表（鳥取県受賞者一覧）得点順

部門（年間乳量）		表彰区分	農家名
1部 受賞者 （10名中3名）	**ホルスタイン部門** （250t未満）	最優秀賞	手嶋　和博
			坂本　洋暁
			河本　道広
2部 受賞者 （7名中5名）	**ホルスタイン部門** （250t～500t未満）	最優秀賞	近藤　大介
			陰山　光彦
			高浜　国彦
			山下　正太
			影井　正美
3部 受賞者 （5名中5名）	**ホルスタイン部門** （500t～1,000t未満）	最優秀賞	川本　潤一郎
		優秀賞	真山　秀樹
			高間　理拓
			㈱ナカムラファーム
			合同会社　三浦牧場
4部 受賞者（3名中2名）	**ホルスタイン部門** （1,000t以上）	最優秀賞	川本　和昭
		優秀賞	㈱ブッシュクローバーズ
6部（受賞1校）	**高校・大学校部門**	最優秀賞	鳥取県立倉吉農業高等学校

※出荷者が多い部門には表彰対象者が多く設定してあります。５部はジャージー部門となります

良質生乳出荷者を目指して

中国地区の生乳出荷者にも飼養方法や搾乳形態が様々あります。新しい牛舎や長年使っている牛舎もあり、皆それぞれ工夫され良い生乳を出荷しようと努力されています。それでも、年間を通じて良質な生乳を出荷することは簡単なことではありません。

今回受賞された方々にお話を伺うと、共通していることは「牛のことを考えて仕事をして、消費者に美味しい牛乳を飲んでもらうために、当たり前のことをやっている」と話されていました。受賞された方々の当たり前は、いろいろな取り組みを実践されそれを毎日の作業に取り込んでいることが成果として出ていると思います。

組合員皆様の良質生乳出荷への意識の高さが牛乳の「美味しさ」に繋がっていることは間違いありません。本年も良質生乳出荷者を目指して頑張りましょう！

（表彰式集合写真は今月号の表紙にて紹介しております）

おかげさまで
75th Anniversary
since1946
取り組み紹介
ＰＲ編

創立75周年の今 改めて伝えたい酪農家の想い

皆さん、大山乳業農協のテレビＣＭが新しくなっているのはご存じですか？

６月上旬から新たに放映されているＣＭ「おかげさまで75周年」編として、山陰エリアのテレビ各局から地元のお客様へ発信されています。

このＣＭは、創立75周年をＰＲすると共に、酪農家の皆さんのひたむきさや酪農に向き合う想いを伝えられるように企画・制作しました。

今年は、ＣＭの他に酪農ＰＲ動画「頑張った分、おいしい」編と「工場見学動画」の２つの動画作成が企画・制作中です。

２つの動画を活用し、多くの方に酪農の魅力や大山乳業農協の製品づくりのことを知ってもらう場を作りたいと思います。

奇しくも世界が新型コロナウイルスの影響を受ける中、組合創立75周年の節目を迎えた大山乳業農協ですが、ＷＥＢ媒体や動画といったツールを活用することでお客様との心の距離を縮めて行きたいと思います。

動画は組合ＹｏｕＴｕｂｅチャンネル「ＣＯＷＹＴＶ」で公開予定ですので、お楽しみに。

（左画像は６月から放映中のＣＭのワンシーンです）

中心となって学習会に取組んだ学生事務局の皆さん

大学生協で供給されている大学生協牛乳とコーヒー

営業所レポート

大学生協関西北陸ブロックで「大山学習会２０２１」が開催されました

７月４日（日）大学生協関西北陸ブロックにて「大山学習会２０２１」がオンライン開催されました。大学生協関西エリアには現在、大学生協牛乳・コーヒーを供給しています。毎年７月に大山訪問研修として各会員生協から学生・職員が当組合と鳥取県畜産農協を訪問し、役職員と交流を行っていましたが、新型コロナウイルス蔓延防止の為、２年連続でオンラインでの学習会開催となりました。

学習会には１１会員５７名が参加し、学生事務局が中心となって、産直の取組み説明や牛乳・コーヒーの飲み比べなどを行いました。京都営業所職員も生乳生産や企業間コラボ・白バラグッズの販売展開などの取組みなどを紹介し、交流を行いました。

参加した学生からは、「産直について理解できた」「大学生協牛乳・コーヒーが白バラブランドと同じところで製造されていることは知らなかった」「大山乳業が様々な取組みもしていて興味深かった」といった声が上がっていました。

品質管理通信
おしえて！ヨーコさん
意外と知らない身近な「品質管理」

第４回　アイスクリーム

毎日晴天続きで、今年も暑い夏となっています。そんな中オリンピック・パラリンピックが開幕し、みなさんテレビ観戦で盛り上がっているのではないでしょうか。選手のみなさんも、日本の蒸し暑さに対応するのが大変のようですね。

さて夏といえば、アイスクリームが欲しくなる季節です。実は一言で「アイスクリーム」と言っても、いろいろと種類があるのをご存知でしょうか。

乳成分の量が多いものから順に、アイスクリーム、アイスミルク、ラクトアイスがあり、それらとは別で氷菓というグループがあります。商品の原材料などと一緒に「種類別」の項目で記載されています。汗をたくさんかいたからさっぱり食べたいと思えば氷菓、仕事終わりにご褒美でアイスクリームを食べるなど、そのときの気分により色々な種類を選べるのも魅力の一つです。コンビニにいくと、各メーカーの様々なアイスを見ることができ、その中からお気に入りを見つけるのも楽しみですね。

大山乳業農協でもアイスクリームの製造をしていますが、鳥取県で生産された生乳を使ったアイスギフトが人気です。みなさんも日頃お世話になった方へ、暑い夏にぴったりなアイスギフトを贈られてはいかがでしょうか。

ＪＡ鳥取県人権・同和問題対策推進本部からのお知らせ

ＪＡグループ鳥取では人権・同和問題に対して、令和３年度より「第８次（2021～2023年度）ＪＡ鳥取県人権・同和問題対策推進方針」をもとに、差別と偏見のない社会の実現のために取り組んでいきます。組合員の方はもとより、地域住民の方にも人権・同和問題が身近な存在であることに気づいてもらうため、第８次期間中（2021～2023年度）も引き続き、人権・同和問題に対する啓発記事を年４回連載します。

第24回「個人のプライバシーの保護に関する人権問題について」

今やインターネットを活用したＳＮＳ（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム等）は、コミュニケーションの１つとして確立し、面識がない人ともつながりが持てる時代となっています。コミュニケーションの輪が広がり便利になる一方で、インターネットを悪用した行為が増えています。

他人への中傷や侮蔑、無責任なうわさ、特定の個人のプライバシーに関する情報の無断掲示、差別的な書込み、インターネット上でのいじめなど、人権やプライバシーの侵害につながる情報が溢れています。

特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動（いわゆるヘイトスピーチ）や、部落差別を助長するような内容の書込みがされることもあります。

さらに、インターネット上の有害情報に起因して犯罪やトラブルに巻き込まれ、被害に遭うなどの人権侵害事案も発生しています。

第８次ＪＡ鳥取県人権・同和問題対策推進方針では、「個人のプライバシーの保護に関すること」も人権課題の一つとして掲げて取り組んでいます。

非常に便利なＳＮＳですが、使い方によっては他人を傷つける場合もあります。悪用することなく、お互いの人権を尊重した行動をとるようにしましょう。

私のオススメ

みなさんこんにちは！

７月から物流課直売所に異動になりました米田です！

私がおすすめする商品は白バラフルーツです。小さい頃から家の冷蔵庫の中に必ずと言っていいほど入っていたのが白バラフルーツでした！

家族もみんな大好きで、１０００mlのパックはすぐになくなるほどでした。特に私はお風呂上がりに白バラフルーツを飲んで、大好きなアーティストの音楽を聴き至福の時を過ごしています。

暑い時に飲みたくなる白バラフルーツですが、季節を問わず年中飲みたくなる味だと思います。どこか懐かしい味を感じられる乳飲料です。皆さんのご家庭の冷蔵庫に白バラフルーツは必須アイテムですよ!!

我が家の必須アイテムです！

組合員の皆さんへの情報掲示板

指導課通信

今月のトピックス

・暑熱対策プロジェクト vol.4

米子・日野普及所管内の暑熱対策の実施状況

米子・日野普及所管内の暑熱対策の実施状況（米子・日野農業改良普及所 宮本・入江、西部家保 高橋・相見、大山乳業 高見・前田）

1．はじめに

鳥取県では、7月7日より梅雨前線の影響で線状降水帯による非常に激しい雨が降り続き、河川の氾濫や崖崩れや家屋への浸水も相次ぎました。農場でも牛舎の浸水、漏電といった事態に見舞われました。

また、梅雨が明けると厳しい夏の日差しがやって来ました。猛暑日を連続して記録している昨今、暑熱対策の重要性は言うまでもありません。今回は米子・日野普及所管内の酪農家の暑熱対策の実施状況について紹介します。

2．二重屋根の効果

二重屋根は、屋根と屋根の空間に熱が溜まることで遮熱塗料や屋根散水よりも防暑効果が高く、牛舎内の温度を2ー3℃低く維持したという例もあります。これまで行っていた屋根散水及び換気扇のフル稼働を抑制することによる「省エネ」とランニングコストの削減が期待出来、老朽化している屋根の補強にも繋がります。今回、牛舎の半分を修繕目的で二重屋根にしている酪農家がありましたので、牛舎の一重屋根部分と二重屋根部分で温度差があるのか調査を行いましたので報告します。

●調査の概要

調査期間	R3年6月9日～7月26日（47日間）
調査方法	おんどとり（ティアンドデイ社製）を一重屋根と二重屋根の地上から高さ3.5m地点に設置し、1時間ごとの温度を記録。
比較条件	猛暑日の温度差を把握したいため、最高気温30度以上、日照時間10時間以上（気象庁：米子の観測値）の日に限定し、1時～24時までの平均温度で比較。

●結果

7時から16時の間で、一重屋根と二重屋根の温度差が出始め、7時の時点では一重屋根直下の温度が25.3℃に対して二重屋根直下の温度は、24.8℃で0.5℃温度差があった。9時の時点では、一重屋根直下の温度が30.3℃に対して二重屋根直下の温度が28.8℃で、温度差が最大の1.5℃であった。このことより、一重屋根のほうが、直射日光の影響で温度が上がりやすいことが分かる。16時までは、常時、二重屋根の温度が低い傾向であった。

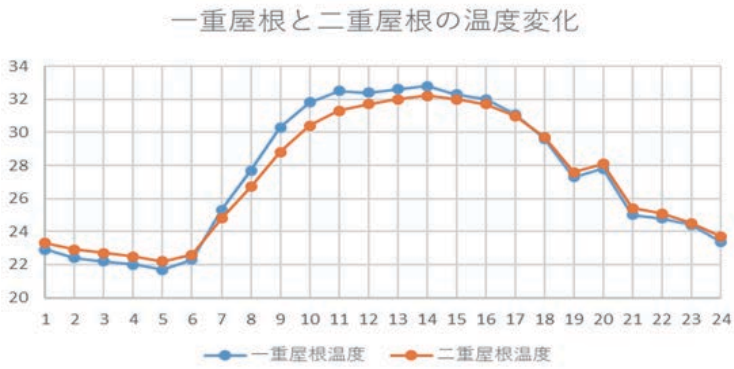
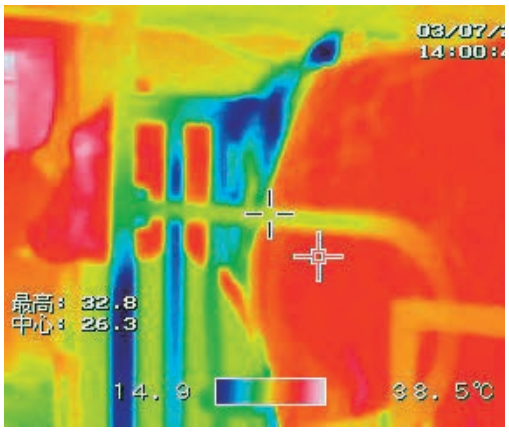


図1．一重屋根（既存）と二重屋根（修繕）の温度変化の推移

3．手作りソーカーシステムの効果

ソーカーシステムは牛体に直接水をかけて濡らし、気化熱で体を冷却する方法で、設備投資が安価であり、仕組みも容易です。



サーモグラフの温度解析

ソーカーのあるアブレストパーラー

●検証結果

この牧場では、アブレストパーラーにソーカーシステムを導入しています。牛の首付近にシャワーヘッドを取り付け、搾乳中の牛の首筋に向け水を出しています。人間も同じですが、首筋には大きい動脈がある為、冷やすと全身の温度を下げる効果が期待できます。

「パーラーに入ると涼しくて気持ちいい」と牛も認識し、牛がスムーズにパーラーへ入るようになり、搾乳作業の効率化にも繋がります。費用は一万円程度で出来ました。

注意点に留意して実践してみましょう。

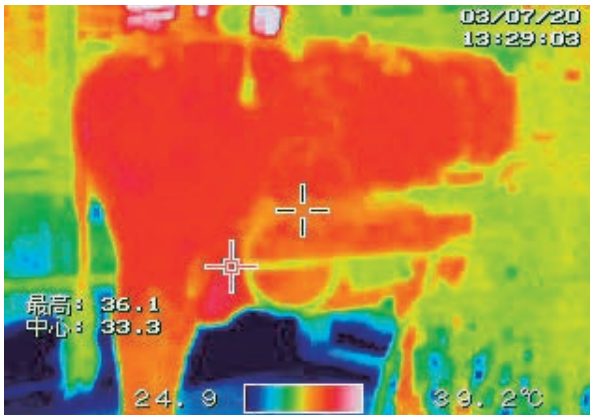
●注意点

- 放水量は排水に支障がない量にすること
- 濡らした後、送風で乾燥させること
- 乳房を濡らさないよう、水をかける位置を考慮すること

4. 乾乳牛・搾乳の毛刈り効果

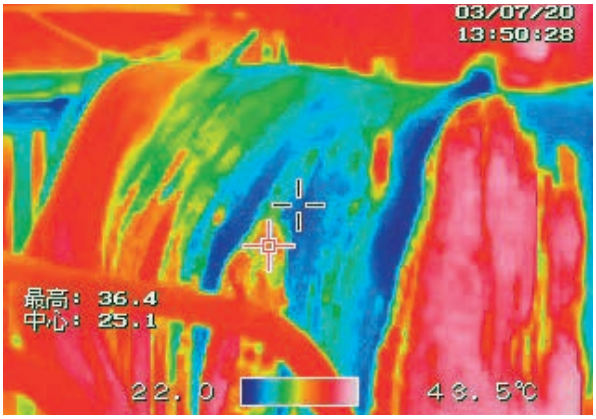
毛刈りは、バリカンさえあれば今すぐ取り組めます。マニュアルにも記載しましたが、搾乳牛よりも乾乳牛の暑熱対策が優先されます。人も夏バテ気味かと思いますが、日々牛乳を生産してくれる牛たちのために乾乳牛の毛刈りにトライしてみませんか。

薄刃で毛刈りしました



毛刈り後の体表面温度は高くなります

牛もスッキリ!!



水を掛けて、換気扇を当ててやると効果は一層上がります

●検証結果

毛刈りを行った牛は乾乳牛でしたので、乳量・成分等のデータはありませんが、毛刈り前と毛刈り後のサーモグラフィ画像を見ると、体表面温度が上がって（赤くなっています）いますが、これは毛を刈ったことによって体温が体表面温度として出たためと思われます。これによって、体温は低下し暑熱対策として長時間効果がでると考えられます。

今後、分娩の事故防止等にどう影響していくのか、継続的にデータを取っていきます。

5. 最後に

どんな対策にも長所・短所がありますが、何もしなければ損失がより大きくなります。お盆もすぎ、今年の夏も終盤に差し掛かりましたが、今からでも出来ることを実践し、夏バテの損失を最小にしましょう。

また、今年の夏を振り返り、来年くる夏に向けた改善策を一緒に考えていきましょう。

輸入粗飼料の情勢

品　目	今後の改定要因			特　記　事　項
	品代	為替	フレート	
US産ビートパルプ	↑	→	↑	産地相場は、シカゴ相場の穀物高騰により内需及び海外からのビートパルプの引き合い強く、２１－２２年産ビートパルプ価格は大幅に上昇する事が懸念されている。
アルファルファヘイ	↑	→	↑	主産地であるコロンビアベースンでは、２番刈の収穫作業が終盤を迎えている。南部では３番刈の収穫が間もなく開始される。例年、ワシントン州の産地相場は輸出向けが牽引するが、２１年産は、好調な乳価の中国に加え米国内の酪農家及び肥育農家も積極的に買付しており、相場を押し上げている。穀物相場が高騰し、米国内の酪農家がアルファルファの給与量を増加させていることや、西海岸で直面する厳しい旱魃の影響で自給飼料の生産が少なく、州外からも産地に買付が入っていることが背景にある。
USチモシー	↑	→	↑	主産地であるワシントン州コロンビアベースンの２１年産は大半が中級品以上の生産となっており、下級品の発生が少ない珍しい作況となっている。同州エレンズバーグでも収穫期に好天が続いたため上級品が中心に生産されている。コロンビアベースンでは多くの圃場でチモシーの生産を１番刈で終え、２番刈よりも換金性の高いトウモロコシや豆類などへの転作が進められている。産地相場は発生量の少ない下級品の引き合いも強いため価格は大きく上昇している。
スーダン	↑	→	↑	主産地インペリアルバレーの７月の天候は最高気温４３℃前後、湿度が５０％－６０％と８月並みの天候が続き色目の鮮やかな品質の発生は少なくなっており、色目のぼやけ、茎が固く、茶葉の混入した品物が増えている。米国内で外食産業が再開したことから、野菜に対する需要が高く、２１年産は２番刈を収穫せずに冬野菜へ転作準備を行う圃場が多く、２１年産スーダンの生産量は昨年に比べて１５％－２０％減少することが見込まれている。輸出業者、内需へ旺盛に取引されており、低級品の価格も昨年と比べ上昇している。
カナダチモシー	↑	→	↑	アルバータ州南部レスブリッジ地区では、生育期に旱魃及び熱波に直面し、この影響で単収は例年に比べ２０％－３０％程度低くなっている。作況としては収穫期に天候に恵まれたため、南部では大半が中級品以上となっており上級品も多く発生している。
オーツヘイ	→	→	↑	西豪州、南豪州では断続的な降雨は降ったが、順調に生育している。東豪州ではやや土壌水分が少なく、単収が例年以下になる可能性がある。需要については、各地で降雨があったため、豪州全体で内需からの引き合いが弱くなっている。中国向けの輸出については、輸出期限が残っている３工場からは総計１０,０００トン～１５,０００トンの数量が毎月中国向けに輸出されている。
クレイングラス	↑	→	↑	主産地インペリアルバレーでは圃場によっては４番刈の収穫が開始されている。７月に入り湿度も発生しており、色目の脱色した品質も散見されている。産地では刈遅れた低級品でも自給飼料の不足した内需からの引き合いが強く、生産者によっては単収を増やす動きも出ている。このため３番刈では茎が太く、硬い品質が増加している。

北米コンテナ船情勢

ロサンゼルス・ロングビーチ港沖合での滞船状況は悪化しており、現在２０船を超えるコンテナ本船が滞船している。PNWでは６月にカナダにおいて熱波が襲い、内陸からバンクーバー港を結ぶ鉄道沿線で山火事が発生した。この影響でコンテナ輸送をしている鉄道で一時運航停止があったため、カルガリーから出荷されるカナダ産チモシーでもスケジュールの遅延が発生している。

中国・豪州海運情勢について

中国では、上海港を中心に空コンテナ不足に陥っており、今後クリスマス商戦に向けた輸出の最盛期を迎えるため、船会社によってはフリータイムの大幅な短縮を実施し、早期に空コンテナを中国に集める動きが顕著になっている。一部の船社では豪州の輸出業者に対し日本への入港後、港湾で出荷待ちとなっているオーツヘイを早期に出荷し空コンテナの返却が完了するまで、豪州からの船積み予約を受け入れないというケースも発生している。

大山乳業農業協同組合 からのお知らせ
Dainyu Information

理事会だより
理事会にて次の議案が決議されました

7月19日提出議案

第１号議案　　上半期経営検討について

第２号議案　　固定資産の取得について

異動辞令等
下記の通り異動辞令が発令されました

異動辞令（令和３年８月２１日付）

（所属及び役職）	（氏名）	（旧所属及び役職）
製造部		
製造管理課 係長	菊本 明恵	デザート課 係長
製品開発センター		
係長	前田 知恵	製造管理課 係長

商品リニューアルについて
牛乳・乳飲料リニューアル商品を紹介します

RENEW 9/2

特選大山おいしい牛乳と大山おいしいカフェオレが
デザインを一新してリニューアル

この度、特選大山おいしい牛乳９００ml
と大山おいしいカフェオレ９００mlが
デザインリニューアルします！
おいしさはそのままに、店頭
での存在感と手に取りやすい
親しみのあるデザインが完成
しました!!

パッケージに隠れている
「鳥取県」にも注目!!

直売所カウィーのみるく館からのお知らせ
今月のみるく館お買い得情報！

大好評

何がもらえるかはお楽しみ!!

みるくガチャ

9月1日～9月30日

税込み1,000円以上購入で1回チャレンジ

敬老の日フェア

「私65歳以上です」で

店内商品※10%OFF

フェア期間：9月18日～9月20日

※割引商品は、グッズ等の割引対象外商品を除きます。詳しくは店内スタッフへお声かけ下さい。

9月のお買い得セット

大福6個セット

9月1日～9月21日まで

【セット内容】
生クリーム大福、抹茶クリーム大福、チョコレート大福　各2ケ

500円 税込

ホームページからのお声

■CMでも最近よく観るようになり、子どもも牛の真似をしたり楽しんでます。コロナ等大変なこともありますが、これからも頑張ってください。応援してます。（鳥取県）

■鳥取出身なので、馴染みのある商品です。成城石井に立ち寄った際は懐かしさのあまり購入します。早くコロナが収束し、帰省できることを待ち望んでいます。（神奈川県）

■いまから暑くなり牛さんの管理も酪農家の暑さ対策も大変だと思いますが、牛乳を消費することで応援させてください!!これからも応援しています！（長崎県）

■パッケージに75周年のマークをみつけました。これからも美味しい製品をたくさん作ってください。私は変わらず家族みんなでおいしく楽しく牛乳をたくさん飲みます。（愛知県）

■いつまでも誇れる我が県の大山乳業さんでいてくれてありがとうございます。（鳥取県）

■土から草から、そして牛を育てて、年中無休の大変なお仕事だと思います。全国に大勢のファンが待ってますので、これからも頑張って下さい☆応援してます！（岡山県）

■鳥取は生まれ故郷でおばあちゃんがいつも大山牛乳は世界一美味しいと毎朝配達された瓶をお風呂あがりに出してくれました！今は子どもたちも牛乳が大好きで飲んでいます。（大阪府）

Dainyu-PICKUP!

新たにWEB商談会議室と ミーティングスペースが完成しました

７月３１日(土)、大山乳業農協に新たにＷＥＢ商談に特化した会議室とミーティングスペースが完成しました。

大山乳業農協では現在新型コロナ感染対策として、感染拡大地域への出張や来組を控え、ＷＥＢ商談を進めています。その中で、昨年８月に完成した商談会議室の利用率の上昇によるＷＥＢ商談スペースの確保が急務となり、新たにＷＥＢ商談会議室を１室と、ＷＥＢ商談設備が整ったミーティングスペース２つを増設しました。未だ新型コロナウイルスの収束が見通せませんが、大山乳業農協はＷＥＢ商談を活用し業務を円滑に進めていきます。

Dainyu-PICKUP!

令和3年度 鳥取県牛乳協会長表彰が行われました

７月６日(火)、大山乳業農協にて、鳥取県牛乳協会長表彰が行われました。

この表彰は永年、牛乳処理事業、牛乳処理業界の指導育成に功労・功績のあった方へ贈られるもので、大山乳業農協より１０名の職員が表彰を受けました。

【表彰者】写真前列左側より

武信　浩さん	相見　聖子さん
中田　暁宏さん	前田　和孝さん
高見　裕喜さん	坂本　正樹さん
前田　知恵さん	池田　克也さん

※今吉正登さん、長谷川浩二さんは当日欠席

カウィーが見つけた大山乳業農協の歴史を紹介！

カウィーのフォトスナップ

@cowy-daisen 投稿数 :07　/ フォロワー :3698

大山乳業農協の夏ギフトといえば「プレミアムアイス」！濃厚で美味しいんだよ♪昔のパッケージを探して並べてみたんだけど、大きなサイズのアイスもあったんだね。いろいろなフレーバーのアイス、みんな食べてみてね！

あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます

今回紹介するのは平成３年２月２０日発行の「酪農だより第３４９号」より第３回鳥取県農山漁村婦人フェスティバルです。県内の農山漁村地域の女性約５００名が参加し、作文や標語の審査・表彰、藤原房子氏の講演会が開催され、大いに盛り上がりました。

編集後記

この度行われた中国地区良質生乳出荷者表彰で、鳥取県の酪農家の皆さんがすばらしい成績をおさめられました。皆さんの日々の努力で作られる生乳を、おいしい牛乳にしてお客様にお届けします。

酪農だよりに関するご意見ご感想は大山乳業農協お問合せフォームからお寄せください
QRコードからもメールアドレスを取得できます▶

酪農だより vol.715

発行責任者／小前孝夫　　編集責任者／平野 浩
印刷所／山本印刷株式会社　発行日／令和３年8月20日

大山乳業農業協同組合
〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp　E-mail:email@dainyu.or.jp